

氏名：雪浦 和雄
隊次：平成 20 年 2 次隊
期間：平成 20 年 9 月～22 年 9 月
職種： コンピュータ技術

度胸あるサモア人
(右側通行から左側通行への切り替え)

時のサモアの首相は 2009 年の 9 月 7 日に右側通行から左側通行に切り替えました。

結果は、死亡事故が 1 件起きたと思うのですが、それ以外の大きな事故なく切り替えはスムーズに移行しました。日本ならリスクを考慮して躊躇するところですが、首相(サモア人)は度胸があります。切り替え時には、6 時間を交通禁止にし、次に運転速度を時速 25 km 以下に制限するなどして、乗り切りました。またサモア人の持つ柔軟性(変化への適応能力)も高いと感じました。切り替え直後の 9 月 29 日朝に人口 18 万人のサモアは津波に見舞われ 100 人以上の方が亡くなりました。



改造前のサモアのバス

トラックを改造したもので、扉はなくいつも開いている。車内で立つことは許されず満員のときは座った人の膝の上に座ることになる。

参考情報

サモアでは電力不足による停電が頻繁に起きます。そのとき交通信号機は当然止まります。そこで、質問です。停電時、車は交差点でお巡りさんが来るのを待つでしょうか。答えは、待たないで、何事もなかったかのように互いに注意しながら運転を続けます。

左側通行への切り替えで、バスは乗降口を右側から左側に変えられないといけないので、改修費用がかかります。

バス会社はしばらく切り替えに反対していましたが、切り替え後は、バスを改修しなければ道路を走れないのですぐに改修が終わりました。

切り替えに先立って左ハンドル車の輸入が禁止されましたので、サモア国内の左ハンドル車の値段が急落し、私が買った右ハンドル車は買った時の5割くらいの値段で売って帰ることになりました。代わりに、右ハンドル車がニュージーランド、オーストラリアそして日本から輸入されるようになり、車の値段が全体的に安くなりました。首相の狙いは実現されました。

勇気あるもう一つの話は、日付変更線の変更です。私がサモアから日本に帰った1年後ですが、今度は西半球から東半球へ移り、時計を24時間進めました。これでニュージーランド、オーストラリアと同じ日付になり、経済的に便利になったそうです。わかりやすく言うと世界で最も遅い夕日が見られた国から、世界で最も早く朝日を見られる国に変わりました。